

2025年秋年末闘争・組織拡大 CTG 建交労道本部闘争速報

2025年12月19日／第14号

〒060-0909 札幌市東区北9条
東1丁目北海道労働センター2F
TEL 011-711-7377
FAX 011-711-7388
e-mail / ctg.hokkaido@gmail.com

トンネルじん肺根絶第8陣北海道訴訟 来年1月28日に和解成立へ

12月16日に札幌地裁で「トンネルじん肺根絶第8陣北海道訴訟」の第5回口頭弁論が開かれ、来年1月28日（水）に和解期日が決まりました。この日は、布施雄士裁判長が「原告1名以外は和解協議が整いそうなので1月の期日に和解を成立させたい。1名については東京地裁などで被告企業からの異議申し立てがあり、札幌地裁での和解も延ばさざるをえない」と述べました。

法廷では、原告団長の高嶋雅弘さんが「全国に先駆けて和解できそうだということで関係するみなさんにあらためてお礼を申し上げます。これ以上苦しむ原告や遺族を出さないために、さらに現場環境の改善をはかり、被害者が裁判をすることなく救済されるようにするためにご協力を重ねてお願いします」と意見陳述しました。また弁護団の渡辺達生弁護士が、一部の被告企業が和解金額を減額しようとしていることを批判しました。

1名の和解成立にむけて、3月17日に次の口頭弁論期日が指定されました。

7～11月の新規認定57件

道本部労災職業病部会は今年7～11月の新規認定のとりくみなどについてまとめました。新規認定件数は57件で、内訳は振動障害・20件、じん肺・1件、じん肺遺族補償・6件、アスベスト疾患（労災）1件、アスベスト遺族補償・3件、アスベスト（救済法）・2件、騒音性難聴・23件、その他（上肢障害）1件です。また、2人が「建設アスベスト給付金」の支給決定されました。労災認定などの要求で新たに27人が建交労に加入しました。

全国青年部が第27回定期総会

12月6～7日に建交労全国青年部の第27回定期総会が開かれ、北海道から宝福午臣さん（函館支部）と春田美羽さん（旭川支部）が参加しました。1日目は、静岡県立大学短期大学部准教授の中澤秀一先生を講師に「最低生計費」について学習し、グループワークで活発に議論しました。2日目の総会では宝福さんが議長を務め、春田さんが北海道本部青年部の活動に学習交流会の活動について「平和行進に参加するなど、とても学びの多い学習交流会だった」と報告しました。役員改選で、北海道から宝福さんに替わって春田さん（旭川支部）が委員に選出されました。なお、宝福さんは来年度また委員に戻る予定です。（＝「全国青年部ニュース」から）

JR北海道の冬期対策で鉄道本部が団交

11月14日の団体交渉で、JR北海道から北海道鉄道本部に冬期対策の提案があり「これまでの取り組みで成果が見えたものは継承し、見直す点は改善して安全安定輸送に努める」と報告されました。北海道新幹線の青函トンネル走行時の速度について、車両着落雪対策として入口から20kmの区間で車両着雪量「中」以下の場合、時速160kmから210kmへ速度向上する点についての質問に、これまでのデータから心配される問題はないとしました。冬期パートナー社員（除排雪作業）の確保に苦勞している点や、札幌運転所構内における外注先に不安があり雇用先の違いで同じ作業をおこなっても賃金や被服貸与で格差が出ていることを指摘し、労働者が労基署に駆け込むことが起きないように注視することを求めました。